

CORPORATE PROFILE 2024

この道の先にある、広がる未来へ



道路建設・舗装工事



加州建設株式会社

ご挨拶

100年企業を目指して

代表取締役社長 塩谷 浩志

わたしたち加州建設は、創業者が舗装事業の可能性に掛けた夢と将来への希望を原点とし、その思いを表す「この道の先にある、広がる未来」を胸に、諸先輩をはじめとする同じ志しを持つ仲間と共に、今日まで歩みを止めることなく成長に向け懸命に努力を続けてきました。

この努力によって築きあげられた会社の歴史・伝統・基盤を更に発展させるため、より多くのお客様や地域社会のみなさまから信頼され共感され選ばれる企業となることを目指し、変化を恐れることなく今を変える決意で挑戦を続けていくことが、わたしたちの使命だと思っています。

加州建設は、2年後の2026年4月20日に創立70周年を迎えます。

現在わたしたちは、創立70周年に向けた VISION 2026 「可能性と将来性を感じられる企業、そして選ばれる企業となる。」ための取組みを進めています。わたしたち全員が将来像に向け主体性を持って取組む姿、そしてわたしたちが活躍し加州建設と共に成長する姿が、「可能性と将来性を感じられる企業」として共感され、「選ばれる企業」へとつながり、その期待に応えていくことがわたしたちの「共通の目的」あり、このビジョンを実現するためのミッションだと考えています。

そして、わたしたちの将来像である「100年企業」に向け、「可能性と将来性を感じられる企業、選ばれる企業」であるために着実に歩み続けることをお約束すると共に、未来に於いてもすべての関係者のみなさまとわたしたちが共に豊かさを分かち合う姿を思い描き、みなさまの期待に応えられる企業であるために、「持続可能な発展」の実現を目指して努力を続けてまいります。

Information 会社概要

社名	加州建設株式会社
設立	1956年（昭和31年）4月20日
資本金	5千万円
売上高	39.7億円（2024年3月期）
従業員数	109名（2024年3月末現在）
事業内容	舗装工事・土木工事
許可番号	国土交通大臣許可（特-4）第1501号
本社	石川県金沢市小金町3-31 TEL 076-252-2241(代表)
代表	代表取締役社長 塩谷 浩志
支店	富山
営業所	輪島・羽咋・加賀・白山・富山

加州建設の歩み

昭和30年代の日本の道路はまだ舗装されていない砂利道が多く、特に北陸は雨が多いことや降雪地帯であることから様々な問題を抱えていました。

かねてから道路整備の必要性を実感していた創業者である山岸与作は北村栄勝と共に、北陸での舗装事業の可能性と将来性に魅力を感じ、昭和31年（1956年）石川県に舗装会社を創設したのが、加州建設の始まりです。

当時は現在のように機械化されておらず、鉄板の上で碎石とアスファルトをスコップで練り上げて舗装を行う人力に頼った作業でした。その後も手探りの状況で苦労の連続であったが、地域の生活環境の改善や県内道路網の整備という使命感に支えられ、数々の困難を乗り越えてきました。

この間、他社に先駆けていち早く輪島市に工事事務所を設け、奥能登地区の道路インフラの発展に寄与してきたほか、羽咋・小松加賀にも工事事務所を設け県内全域を拠点とし、事業の展開を図ってきました。

わたしたち加州建設は68年の歴史を経て、ものづくりの集団として今日まで培ってきた技術とノウハウを活かし収益力と競争力を高め、次の時代へ向けた組織づくりを進め、未来を見据えた着実な成長に向け歩み続けます。

1964年当時の会社案内より



● ま え が き

弊社は昭和31年4月日本道路株式会社（本社東京都）との提携のもとに道路舗装専業者として自立し兼石川、福井、大阪三府県の府、県庁、市町村役場及び、北陸地方建設局、近畿地方建設局、其の他民間会社の各種道路舗装及び、一般土木工事を受注執行し現在に至っております。

沿 革

1956年 04月	昭和31年 04月	1956年4月20日 山岸与作が金沢市小金町にて加州建設を創業
1960年 05月	昭和35年 05月	輪島工事事務所設置
1961年 04月	昭和36年 04月	羽咋工事事務所設置
1963年 05月	昭和38年 05月	小松加賀工事事務所設置
1964年 12月	昭和39年 12月	自社プラントを廃止し共同出資プラント大同開発株式会社を設立
1971年 09月	昭和46年 09月	大同開発株式会社 川北工場新設
1990年 04月	平成02年 04月	富山営業所開設
1990年 10月	平成02年 10月	大同開発株式会社 能登工場新設
1991年 04月	平成03年 04月	各工事事務所を営業所に昇格
2006年 04月	平成18年 04月	2006年4月20日 創業50年を迎える
2011年 03月	平成23年 03月	白山営業所開設
2018年 04月	平成30年 04月	富山営業所を支店に昇格
2019年 06月	令和01年 06月	白山営業所を移転
2024年 04月	令和06年 04月	2024年4月20日 創業68年を迎える

わたしたちは、「経営理念」を確実に実践することこそが、加州建設が企業として担うべき社会的責任を果たしていくことになると考えています。そして、わたしたちが目指す会社の姿を実現するために向かう先を示す「行動指針」を、主体性と自覚を持って実行していきます。

加州建設は持続可能な発展に向け、全ての業務に於いて「量より質」を優先し、より強い収益基盤と体制をつくり、安全で快適な労働環境を実現するため、働き方や労働時間の見直しにも積極的に取り組んでいきます。

経営理念

コミュニケーションを大切にし、明るく、活力のある会社を目指す。

素直な心、謙虚な心、感謝の心を持ち、優れた技術力と情熱で顧客の期待に応える。

会社の健全な繁栄を通じて企業としての社会的責任を果たし、社員の幸福を実現する。

行動指針

わたしたちは、経営理念を現実のものとするため、組織としての秩序と統制を守り、主体性と自覚を持って次の課題に積極的に取り組みます。

わたしたち全員が誇りと希望を持ち、活力と魅力のある会社であるために

お客様や地域のみなさまから信頼される会社であり続けるために

1. コミュニケーション（挨拶、報告・連絡・相談等の対話）を図り、「仕事が楽しい」と共感できる前向きで開かれた職場環境を作る。
2. 組織の横断的な交流で、「従来の方法や過去の慣習・固定観念に捉われない」斬新なアイデアを生み出せる活力ある企業風土を形成する。
3. 「もっと良いものや方法は必ずある」・「改善は必ずできる」という強い意志を持ち、収益基盤の強化と推進を図る。
4. 「より良くより安全に」を第一目標とし、全員があらゆる事故の防止に最大限の努力を払う。
5. 情報の共有・意思の疎通を通して各部署が連携し、速やかな意思決定と経営判断ができる体制を確立する。
6. 常に「素直な心・謙虚な心・感謝の心」を持ち、「サービス・価格・誠意・技術、そして情熱とスピードある対応」をアドバンテージとしてチャレンジを続ける。

Vision 2026 2026年に向けたありたい姿

加州建設は2026年に向け、わたしたちの思いとありたい姿を示すビジョン2026「可能性と将来性を感じられる企業、そして選ばれる企業となる。」ための取組みを進めています。

目指すビジョン 「共通の行先」

経営方針の「受注の合理性（量より質・選択と集中）を求め、妥協することなく収益の向上を目指す。」・「常にコストと効果のバランスを意識し、生産性を高め収益力の強化を図る。」を基本理念に、収益力と競争力を高め景気や政策に左右されることのない対応力で安定した成長を続け、待遇や環境改善への積極的な投資を進め、可能性と将来性を感じられる企業、そして多くの共感者から選ばれる企業となる。

ビジョン達成への取組み 「共通の価値観」

2026年に迎える創立70周年へ向けビジョンの達成と浸透を図るため、クオリティ（人材力・技術力・創出力）の向上、スピード（ニーズや期待の変化に敏感でスピーディーな対応）ある行動をアドバンテージに企業価値を高め、お客様や社会から信頼され共感を得ることを「共通の価値観」とし取組む。

共感され選ばれるために 「共通の目的」

「わたしたちが会社の環境を変え、建設業のイメージを変える」というメッセージには、わたしたち加州建設が会社の未来を想像し目指していること取組んでいることを実現に向け行動する中で、わたしたちが描く建設業の未来像や存在意義を多くの人に伝え、共感を得たいとの思いを込めています。建設業の本質であり魅力でもある、「ものをつくる楽しさ、それがカタチになる喜び」が「やりがいや達成感につながる」こと、そして地方に根ざす建設会社として地域社会やそこに住む人たちの生活にどのように貢献しているかを伝え続けることも、ものづくりの企業である加州建設の使命だと考えています。

わたしたち全員が目指す将来像に向け主体性を持って取組む姿、わたしたちが活躍し加州建設と共に成長する姿が、将来の建設業を担う世代から「可能性と将来性を感じられる企業」として共感され選ばれることにつながることを自覚し、その期待に応えていくことを「共通の目的」として責任ある行動をとる。

目指す将来像「100年企業」に向けて

わたしたちは、1956年石川の地に会社を設立する決意に至った創業者の舗装事業の可能性に掛ける夢と将来への希望を原点に、創業者の思いを表す「この道の先にある、拡がる未来」を胸に、同じ志を持つ仲間と共にこの十数年の間歩みを止めることなく成長に向け懸命に努力を続けてきました。わたしたち加州建設は、創業者の夢と希望をカタチへとつなぎ、わたしたちの将来像である100年企業へ向け「持続可能な発展」の実現を目指し、すべての関係者と共感者のみなさまの期待に応えられる企業であり続けるため、変化を恐れることなく今を変える決意で挑戦を続けていきます。

品質方針

お客様や社会のニーズを的確に捉え、ものづくりに対する「誠実で真摯な姿勢」と「社員の総合力」により、「優れた品質の建設物・サービス」を提供し、信頼と満足を得ることにより、お客様や社会との共生と企業として持続的な発展を目指す。

1. お客様のニーズを的確に把握し、専門的な立場から適切な品質へ展開すると共に、法令・基準・規格の遵守及び環境条件への適合など、お客様の要求事項を誠実に実現する。
2. 常に業務の改善・向上を図り、厳しいコスト管理の保持に努め、お客様の期待に応えられる価格を提供する。
3. お客様により良い品質・サービスを提供するため、「現場」に行き、「現物」を確認し、「現実」を認識し、「原理」・「原則」に従って、お客様の要求や課題の解決に当たる。
4. 建設物・サービスの品質の維持・向上を確実なものとするため、品質マネジメントシステムを継続的に維持・改善する。

労働安全衛生方針

安全は企業の能力と良心を示す指標であるとの理念に基づき、企業活動の全てに於いて働く人の生命と健康を守ることを最優先とし、安全で快適な職場環境を形成する。

以って、社会基盤整備を担う建設業の信頼確保と、可能性と将来性を感じられる企業であるための努力を続ける。

1. 全ての災害・事故の撲滅に向け、関係者全員が当事者意識をもって全力を挙げて取り組む。
2. 「あたり前のことをあたり前に続ける。」そして、その実行レベルを向上させていくことで、自分自身を守り、ヒューマンエラーによる災害・事故を防ぐ。
3. 情報だけで判断せず、「現場」に行き、「現物」を見て、「現実」を知った上で、「原理」に従って、「原則」を作り、事故の未然防止を図ると共に再発防止に努める。
4. お客様、そして当社と協会のコミュニケーションを図り、人間・機械・設備が相互に協調した安全で快適な職場環境を作りあげる。
5. 働く人全ての生命と健康を守り、安全で快適な労働環境を形成するため、業務の効率化を図り、生産性と創造性の向上と労働時間の適正化を促進する。

Results 業績

わたしたち加州建設は将来に向け、今まで培ってきた技術やノウハウを活かし、景気や政策に左右されない「可能性と将来性を感じられる企業」に、そして「持続可能な発展」の実現のため、収益力と競争力を高め、より強い経営基盤・収益基盤づくりをこれからも進めてまいります。

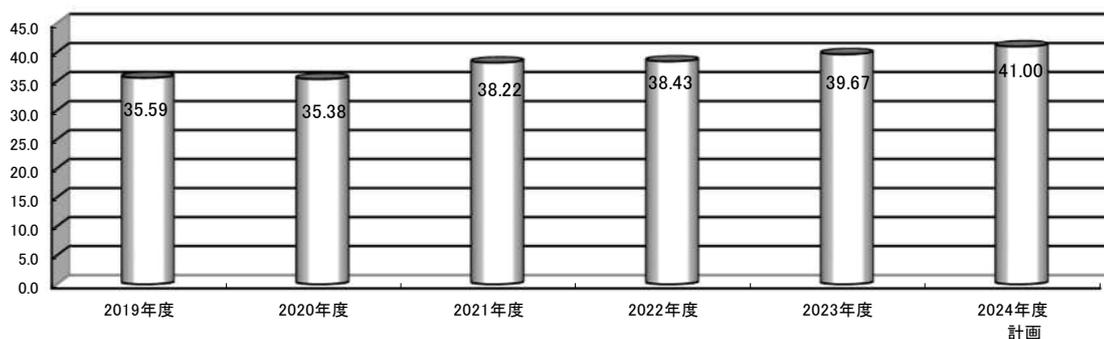
業績の推移と計画

単位：千円

主な指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 計画
売上高	3,558,529	3,537,780	3,821,842	3,842,712	3,966,949	4,100,000
経常利益	305,132	391,615	391,084	318,435	401,928	449,000
経常利益率	8.57%	11.07%	10.23%	8.29%	10.13%	10.95%
利益剰余金	1,699,279	1,912,797	2,109,033	2,251,614	2,479,778	2,600,000
自己資本比率	63.60%	63.80%	65.60%	71.76%	73.71%	—

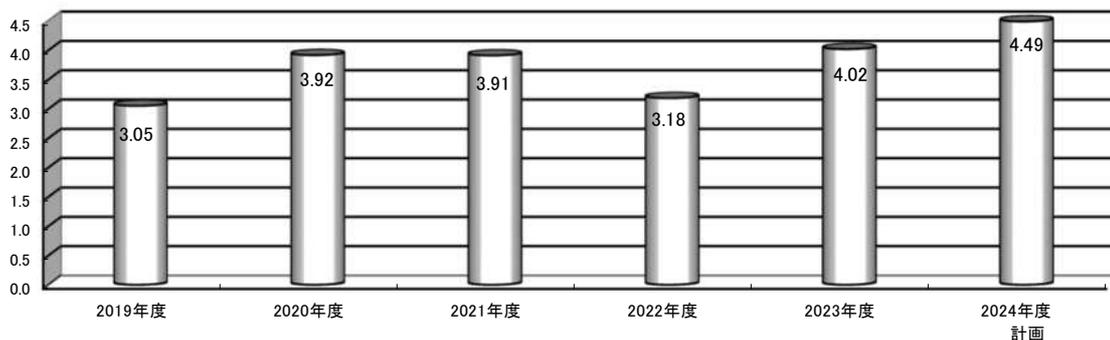
売上高の推移

単位：億円



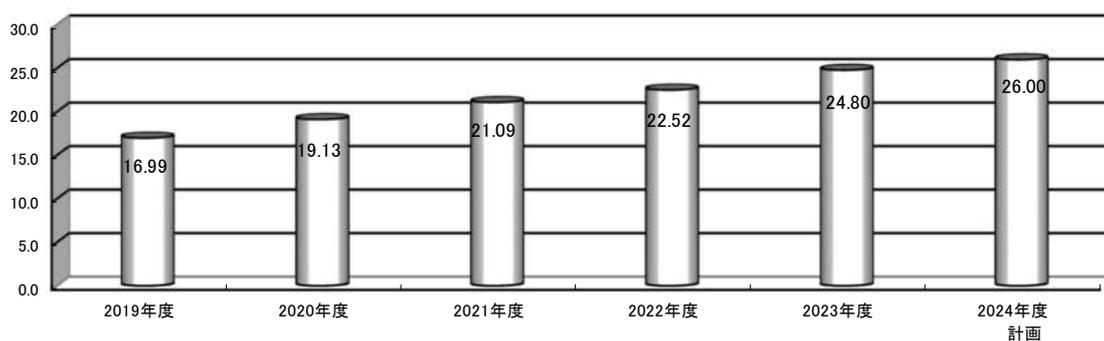
経常利益の推移

単位：億円



利益剰余金の推移

単位：億円



Infrastructure 基幹事業

1956年の創業以来、高速道路・国道・県道などの重要路線を始め、地域を活性化するさまざまな道路や施設の建設・整備、ショッピングセンターや店舗・工場等の造成・舗装など数多くの施工実績と技術で、社会に貢献してきました。

そして、わたしたちはものづくりの集団として、これからも変わることなく安全で快適な社会環境創りに貢献していきたいと考えています。



能越自動車道 自動車専用道路



金沢港クルーズターミナル ツアーバス駐車場



金沢サッカースタジアム 来客用駐車場



野々市市内商業施設 駐車場

日本の産業動脈としての道路においては、厳しい施工技術が要求されます。

多くの重要路線での施工実績を基に、休むことのないこの動脈を流れ続けさせるため、

社会や自然環境そして地域文化に根ざした「道づくり」を目指し、私たちは確かな技術で走り続けます。

Community 景観事業

人と自然が共存する、より豊かな温もりのある空間としてのコミュニティー道路や施設の建設・整備など数多くの工事を手掛け、自然環境や景観の保全にも取り組んできました。これからも変わることなく、いままで蓄積してきた技術や経験を活かし、地域の持つ情緒や文化と調和する素材・工法の開発、そして安全で豊かな景観の道や施設づくりに取り組んでいきます。



石川県立図書館 カラー舗装



金沢サッカースタジアム 薄層カラー舗装 (EGコート)



しいのき迎賓館 自然色舗装

天然素材や美しい色彩を配した道は、心の豊かさにも通じます。

場所のもつ情緒や文化と調和することで、心温まる「道づくり・施設づくり」を実現していきます。

Contents 事業内容

一般舗装

○アスファルト舗装○コンクリート舗装○クレイ舗装○排水性舗装

特殊舗装

○自然石樹脂舗装（ピュアストーン）○速効性樹脂舗装（アクリセット）

○半たわみ性舗装（トップシール）○サンド舗装

○ウッドチップ舗装（エコウッド）○ゴムチップ舗装

○瓦チップ舗装○ガラスチップ舗装

○薄層カラー舗装（EGコート）○遮熱性薄層カラー舗装（EGコートクール）

○薄層樹脂モルタル舗装（アクリセット）

その他

○防草舗装○防草シール○防草シート

舗装・一般土木・とび土工・水道施設等 各種工事

産業廃棄物収集運搬業・道路工事関連申請業務

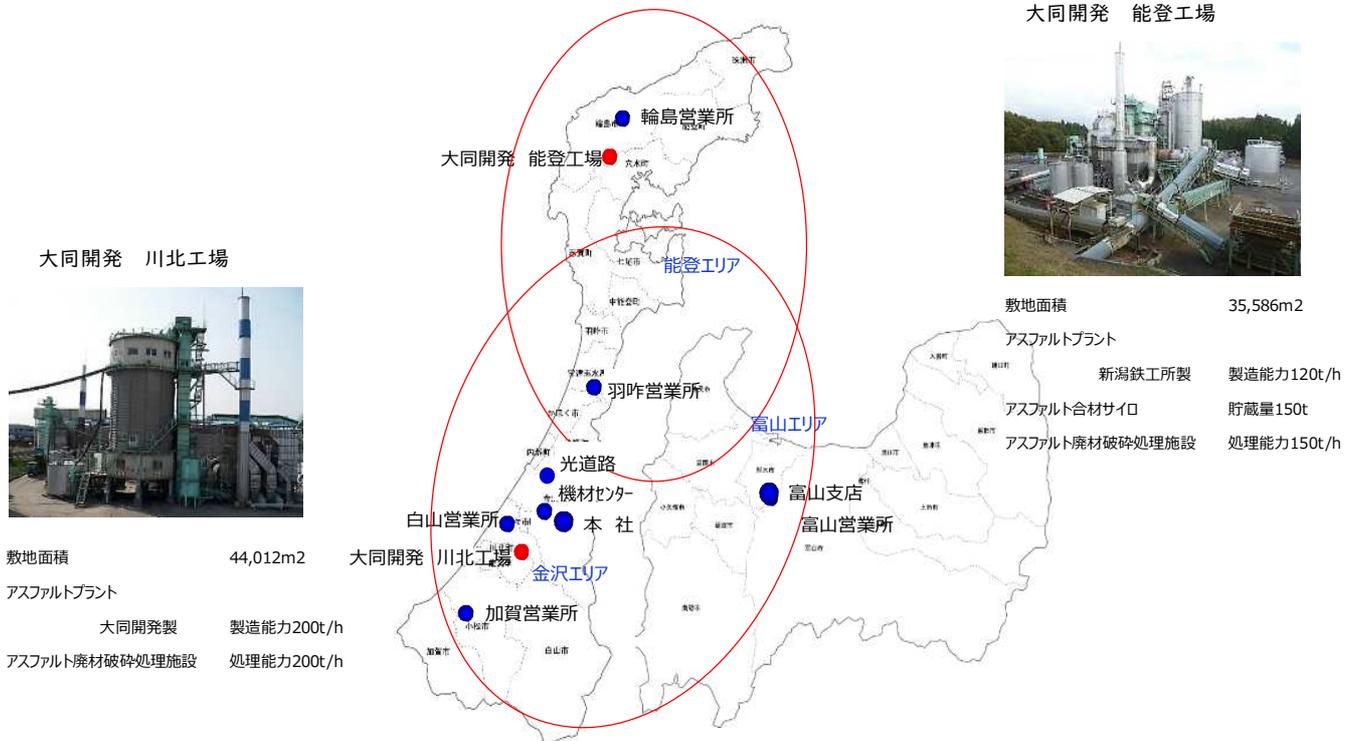
主な取引先

官 庁： 国土交通省 石川県 石川県内各市町村 富山県 富山県内各市町村 他

民 間： アシーズ 大林道路 表組 鹿島道路 金沢エナジー 協和建設 宏州建設 里谷組
サンテン・コーポレーション 積水ハウス建設上信越 竹中工務店 たち建設 トーケン
戸田組 道路技術サービス 中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸 NIPPO 日本道路
北陸電気工事 前田道路 真柄建設 南建設 他

Network 営業拠点

本社・支店・営業所がエリアを中心に連携し、石川・富山全域をカバーし事業を展開しています。
 舗装事業の主要資材であるアスファルト合材を供給するプラントを川北工場と能登工場の2ヶ所に設
 け、石川県全域と富山県呉西地区の施工に対応できるようにしています。



本社	〒920-0805	石川県金沢市小金町 3-31	TEL 076-252-2241	FAX 076-252-4521
総務部	〒920-0805	本社ビル 5F	TEL 076-252-2241	FAX 076-252-4521
営業部	〒920-0805	本社ビル 2F	TEL 076-251-9321	FAX 076-252-4018
工事部	〒920-0805	本社ビル 2F	TEL 076-251-1023	FAX 076-252-4018
輪島営業所	〒928-0025	石川県輪島市東中尾町 27-1	TEL 0768-22-0835	FAX 0768-22-7346
羽咋営業所	〒929-1343	石川県羽咋郡宝達志水町小川 カ176	TEL 0767-28-3166	FAX 0767-28-5195
加賀営業所	〒923-0342	石川県小松市矢田野町 55番地275-1	TEL 0761-44-4197	FAX 0761-43-2421
白山営業所	〒924-0814	石川県白山市橋爪新町 306-1	TEL 076-276-3350	FAX 076-276-3356
機材センター	〒920-0842	石川県金沢市元町 1-13-1		
富山支店	〒939-0321	富山県射水市流通センター青井谷 1-2-1	TEL 0766-56-4344	FAX 0766-56-5991
富山営業所	〒939-0321	富山県射水市流通センター青井谷 1-2-1	TEL 0766-56-4344	FAX 0766-56-5991

【関連会社】

光道路株式会社 舗装工事

〒920-0209 石川県金沢市東蚊爪町1丁目1番地 TEL 076-239-1300 FAX 076-239-1310

大同開発株式会社 アスファルトプラント

● 川北工場 〒923-1261 石川県能美郡川北町土室ほ9-1 TEL 076-277-8800 FAX 076-277-2043

● 能登工場 〒929-2372 石川県輪島市三井町洲衛13字23-5 TEL 0768-26-1118 FAX 0768-26-1345

被災地の早期復旧と復興に向けて

このたびの能登半島地震により、被災されたみなさまに心よりお見舞いを申し上げます。

加州建設は金沢の地で創業し、今日まで石川・富山両県に拠点を置き、地域に根ざした建設会社として事業を展開してきました。

今回の地震により甚大な被害を受けた能登地区には輪島と羽咋に営業拠点があり、地震発生以降この2ヶ所の拠点を中心とし組織が一体となり、各関係機関と連携し被災地へのアクセス道路をはじめ、被災した地域の生活道路などの復旧工事を順次進めてまいりました。

今後も引き続き、被災者のみなさまの日常が1日も早く取り戻せるよう、被災した道路の早期復旧と被災地域の復興に向け、地域社会と共に歩んできた企業としての責任を果たしてまいります。

